

令和6年 8月22日

【裾野市名誉市民の称号を贈ることについて】

市長戦略部秘書課

令和6年7月29日(月)裾野市議会第2回臨時会において、市内在住の大橋俊二 様に裾野市名誉市民の称号を贈ることについての議案が可決され、裾野市政としては初(裾野町時代に過去1名のみ)の名誉市民が誕生することとなりました。

大橋俊二 様は医師と市長という2つの役職に多年にわたり従事され、医師としては個人小児科病院県内初の24時間診療を実現するなど、市内外の住民の健康、保健衛生に寄与する功績が卓絶であり、市長としては市や公共の自治進展に貢献し、全国市長会副会長や相談役を務め、旭日中綬章を受章されたことは類を見ないものであることから、裾野市として、名誉市民の称号を贈ることとなりました。

今後、名誉市民の称号を贈るための式典を開催する予定です。日時や場所など式典の詳細については現在調整中であり、決定次第のお知らせとなります。

※式典の正式名称も今後決定

問い合わせ／裾野市 市長戦略部秘書課 担当:木野村 TEL:055-995-1800